

運輸安全マネジメントの取り組み 貨物部門

【2019 年度（2019 年 4 月 1 日～2020 年 3 月 31 日）】

2019 年 4 月 10 日 有限会社 クリーンサービス本社
代表取締役 持 田 隆 志

●事故防止のための安全方針

- ・有限会社クリーンサービス経営者は輸送の安全の確保が、事業経営の根幹であることを深く認識し、輸送の安全の確保に積極的に且つ主導的に役割を果たす。また経営者と乗務員、経営者と運行管理者・運行管理者と乗務員の連携を密にし、現場の声に真摯に耳を傾け、乗務員が仕事をしやすい場を作り、輸送の安全の確保が最も重要である「CLEAN」なサービスを！
 - C・・・車を大切に（清掃・点検はもとより、乗務員からの車の異常はどんな小さなことでも早い段階で修繕にかける）
 - L・・・リスクを無くす（社内の風通しを良くし、一人で抱え込まず、思っていることを誰かに伝えられる環境を作り、業務を楽しんで行えるような環境作りをする。また運行管理者や役員で話し合い、乗務員の運転技術や健康状態に応じて車の配車等を行い、運管は指示書を作る際には運行する立場になり、事前の準備をしっかりと、乗務員が安心して運転業務にかかわれるようにしていく）
 - E・・・笑顔で接客（笑顔はいい空気を作り込みます。役員自ら笑顔で皆さんを送り迎えます。）
 - A・・・安心・安全運転（大きな事故を起こしたら、ここにいる皆が仕事を失うことを社員全員が肝に銘じ、一運行ずつ取り組みたい
 - N・・・なめらか運転（乗務員はお客様に負担をかけない運転。急いでもいい急の付く運転をしない様心がける
- 社内への周知方法・・・社内掲示・朝の点呼時に乗務員へ周知・年度初めの安全研修会時、方針説明

●安全方針にもとづく目標

目 標	人 身 事 故	0 件
	物 損 事 故	0 件

●目標達成のための計画

- ・緊急時・事故時等の対応訓練
- ・全従業員運転経歴ゼロ事故・ゼロ違反
- ・年間の安全研修や健康診断・適性診断を確実に行うこと
- ・歯周病検診
- ・ドライブレコーダーから見える各自のヒヤリハット運転の認識と運転チェック
- ・チェーン補助
- ・救急法・消火器訓練

●安全に関する情報交換方法

- ・各会議から持ち帰った情報は、回覧等で乗務員や運管に周知できるようにしておく
- ・世の中の安全に関する情報等、新聞やネットから引出し、点呼場等掲示したり、回覧したり、世間話の中から話したりし、情報を共有する

●安全に関する反省事項

- ・今年度は車の故障時の伝達訓練を実施し、実際にランプがついた時に、確実な情報がドライバーから整備管理者へそして修理工場へ伝達でき、成果を上げることが出来た。
- ・昨年から引き続き回送時の声掛けは一定の効果はあるが、マンネリしないような形にしなければならなかったと感じた
- ・実際に事故や緊急な事態が起きた時、ドライバーや事務所もパニックになると思うので、その対応の練習が必要に感じた

●反省事項に対する改善方法

- ・今年度は実際に事故や緊急な事態が起きた時に、ドライバーや事務所の処置や伝達方法など落ち着いて行動できるように研修する
- ・今年はほとんど降らなかったが引き続き、今年度もチェーン補助を行い、チェーンをかけやすい環境を作り、天候に敏感に対応できるようにする
- ・回送時の声掛け等どうしたら、ヒヤリハットが防げるのか話し合い、実行する

●安全に関する目標達成状況

2018 年度目標	結 果	備 考
人 身 事 故 0 件	0 件	目標達成！
物 損 事 故 0 件	0 件	目標達成！

●自動車事故報告規則第 2 条に規定する事故に関する情報

2018 年度実績	事 故 発 生 件 数	0 件	※自動車事故報告規則(H15.9.26 改正国土交通省令第 95 号)第 2 条に定められた自動車事故 (車両の転覆・転落・火災の発生、死者・重傷者・踏切事故の発生、積載物の飛散・漏えい、運 転者の疾病による運行停止、制動装置・かじ取装置・車軸等の故障による運行停止など)
	事 故 の 種 類	—	
	衝 突 の 状 態	—	
	行 政 処 分 等	なし	